

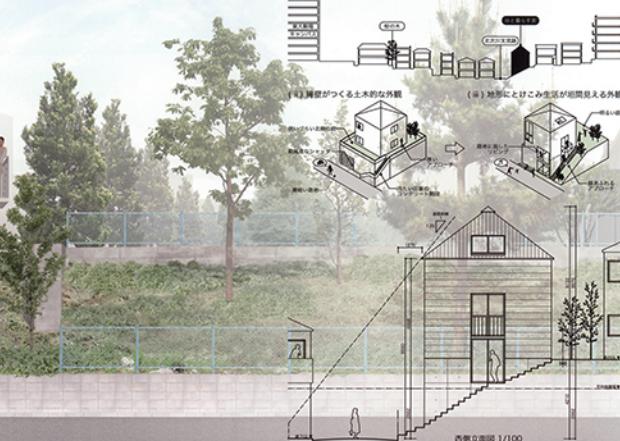
# 谷と暮らす家

斜壁を住宅のなかに取り込むことで、地形のなかにいくつもの住環境をつくる家を提案します。

本提案では高低差のある環境で必要となる土木と建築を併せて扱うことで、住環境と町並みを一体的に計画します。

一般的な住宅造成のように、コンクリートの擁壁で町並みから生活の風景を遮げるのではなく、住むと縁を混ぜ合わせることで、地域に開かれた住環境をつくると共に、住家の風景が周囲を見える形でつくります。

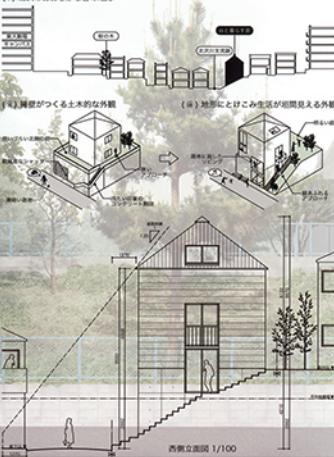
かつての田舎地帯で見られた西日本式の田園風景を復活させ、地形を分離して占有することなく、ありのまま受け入れ共存することで、おらかで心地よい風景に相応しい建築の在り方を考えました。



## 00 地形にとけこみ「生活が垣間見える外観」

斜壁が谷と周辺環境のタイポロジを継続したうえで、地形にとけこむ新しい形の造形が生まれます。斜壁を従来の土木の役割をえた。町並みと住人の生活をつなぐ外観ではなく、地形にとけこみ生活が垣間見える外観をつくります。

### (I) 北京のおおらかな谷の地形



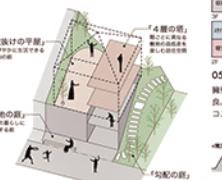
## 01 地勢の高低差を楽しむ「4層の家」

敷地の西側には、屋上のバルコニーから東側を積み上げた「4層の家」があります。斜面の傾斜からなる4層の高さで、各階に異なる空間をつくります。1階は斜面下の谷間に位置するため、谷間に面する窓から谷の風景を楽しむことができます。2階には屋上の高い位置から谷へ傾斜のひびけた窓を設け、周辺環境や敷地の高低差によって生まれる森や谷に向かって大きな窓の風景を設けることで、周りを気にしないで豊かな生活を楽しめる場所をつくります。



## 02 のびやかな生活を支える「吹抜けの平屋」

敷地の東側には、屋上の高台に「吹抜けの平屋」を持つ4層の平屋。南側の斜面に面してグリーンチャイナテラスを設け、斜面からなる4層の高さで、各階に異なる空間をつくります。斜面の谷間に面する窓から谷の風景を楽しむことができます。周辺環境や敷地の高低差によって生まれる森や谷に向かって大きな窓の風景を設けることで、周りを気にしないで豊かな生活を楽しめる場所をつくります。



## 03 地形を受け取れる「3つの庭」

周囲の地形に合せた異なるレベルの3つの庭を、4層の窓の面に配置することで、敷地の中でも豊富な視界を確保することができます。また吹抜けは地形の谷間に面する窓から谷の風景を楽しむことができます。



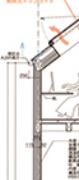
## 04 家族の変化に対応する「田の字プラン」

将来的な家族構成に変化に合わせて柔軟に対応する「田の字プラン」として、また吹抜けは地理学やエバーペンシルの原理に沿っています。



## 05 ローコストでつくづく「ひな造造」

斜壁と基礎を一体化することで、切土量・土量や地盤改良費を削減し、ひな造造に必要な工事コストを最小化します。



## 06 吹抜けを利用した換気計画と木質の快適な住環境

吹抜けを利用して換気と空気を循環させ、冷暖房の消費量を抑えます。また準防火地域の木造規制で移行することで、木の柱と梁に固まれた木質の快適な住環境をつくります。

